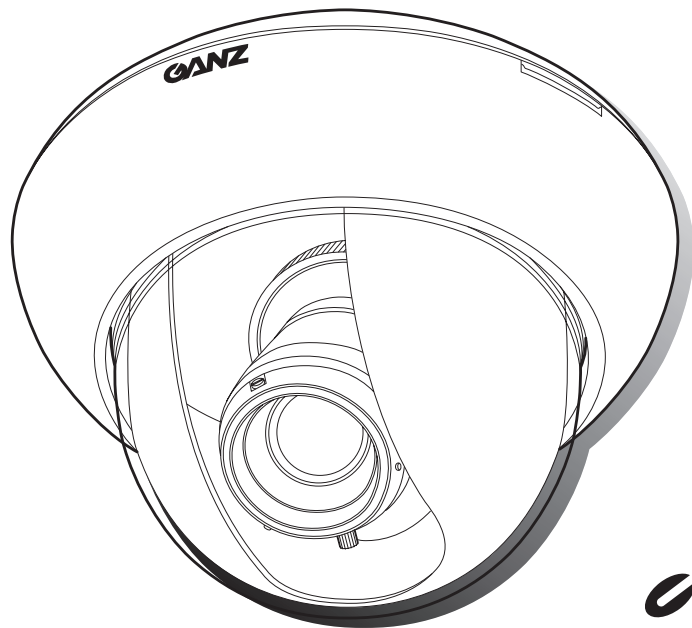


ミニドームカメラ

# ZC-D5000 シリーズ

取扱説明書



カラー高解像度タイプ

**ZC-D5029NHA**

**ZC-D5212NHA**

**ZC-D5550NHA**



日 本 語

**GANZ**®

この度は弊社製品をお買い求め頂きまして、誠に有り難うございます。

- 本書を良くお読みの上、正しくお使いください。
- 読み終わった後は大切に保管し、ご不明な点がある場合は再読してください。

## もくじ

本機の特長 .....	JP-2
正しくお使いいただくために .....	JP-2
各部の名称 .....	JP-3
設置と調整 .....	JP-4
仕様 .....	JP-11

## 本機の特長

- ・ 1/3 型 CCD を搭載した監視用高解像度カメラです。
- ・ バリフォーカルレンズの搭載により、あらゆる画角に対応でき、据付調整も簡単です。
- ・ D D/N (デジタル Day/Night) 機能搭載により、低照度の環境でも明るい映像が得られます。
- ・ 表面設置、埋め込み設置から設置形態を選択できます。
- ・ 水平 / 垂直 / 回転の三軸機構でカメラ方向を調整できます。
- ・ DC12V 電源入力、AC24V 電源入力を自動切替できます。

## 正しくお使いいただくために

以下の警告と注意事項をお読みになり、安全にご使用ください。

### ⚠ 警告

人が死亡、または重傷を負う恐れがある内容です。  
火災・感電を防止するため、この商品を雨や湿気の多い場所で使用（または放置）しないでください。

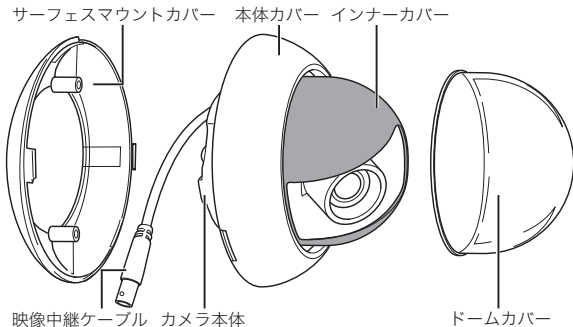
### ⚠ 注意

人が傷害を負ったり、財産が損害を受けたりする恐れがある内容です。

- (1) 正しい電源で使用してください。
- (2) 太陽や極端に明るい物を撮像しないでください。本機が動作している、していないに関わらず、極端に明るい物にカメラを向けると、CCD の故障の原因となります。
- (3) 以下のような場所で使用（または放置）しないでください。
  - ① 極端に高温（低温）高湿になる場所
  - ② 湯気、油煙が当たるような場所
  - ③ ほこりの多い場所
  - ④ 振動の激しい場所
  - ⑤ 直射日光の当たる場所や熱器具の近く
  - ⑥ 磁気や電気的なノイズを発生させる機器の近く  
磁気やノイズの影響を受け、正しく動作しないことがあります。
- (4) 分解や改造はしないでください。分解や改造によって生じた故障や事故に対しては保証できません。内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。
- (5) 万一、煙が出ている、変な臭いがする、異音がする、本体を触ることができないほど発熱しているなどの異常な状態の時は、速やかに電源を切ってください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- (6) お手入れの時は、安全のため、作業の前に必ず電源を切ってください。

## 各部の名称

### ●外側

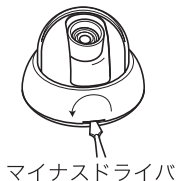


### ●付属品



#### カバーの取り外し・取り付け

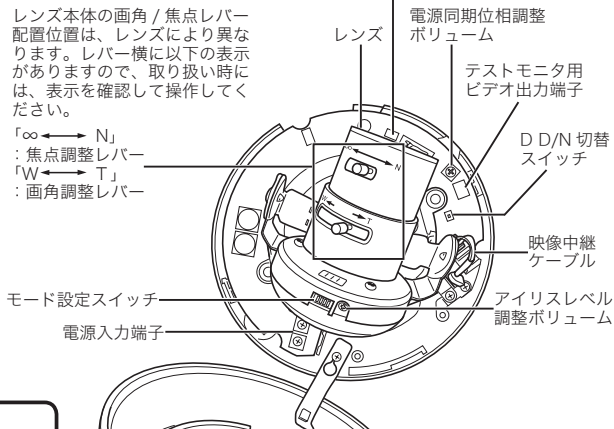
- ・ドームカバー  
取り外し：カバーを引き抜くようにして外します。  
取り付け：カバーを差し込み、軽く押すとカチッと装着されます。
- ・本体カバー  
取り外し：カメラ本体と本体カバーの間の溝に、マイナスドライバを差し込んでひねります。  
取り付け：カメラ本体と本体カバーの凹凸を合わせ、カチッという音がするまで押し込みます。



マイナスドライバ

### ●カメラ本体内側

WSCスイッチ（このスイッチはサービス用ですので操作しないでください）

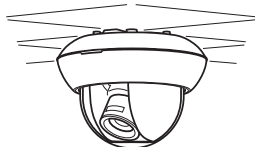


## 設置と調整

### ●本機の取り付けについて

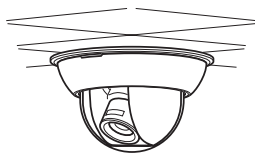
本機の取り付けには、次の3種類の方法があります。設置する条件に合わせて取り付けてください。

#### ・天井・壁の表面に取り付ける



本機を天井や壁の表面に取り付ける方法です。  
(JP-5 ページ)

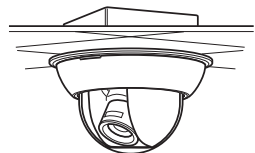
#### ・天井・壁に埋め込んで取り付ける



本機の一部を天井や壁に埋め込んで取り付ける方法です。  
(JP-6 ページ)

- 必ずアダプタリングを使ってカメラを取り付けてください。

#### ・4 Sジャンクションボックスに取り付ける

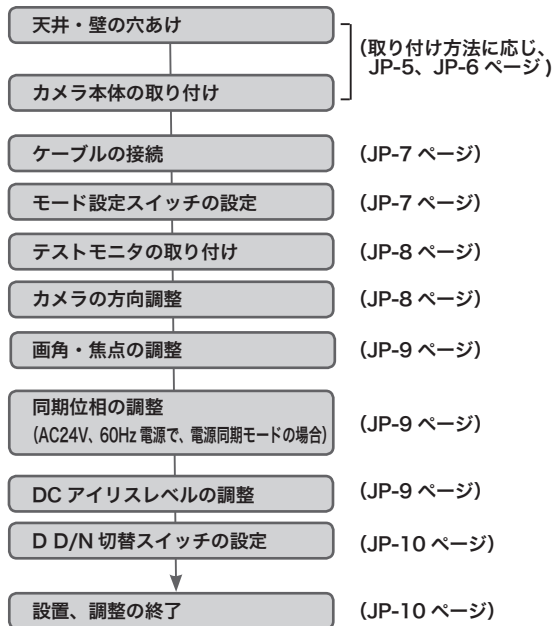


4 Sジャンクションボックスが用意されている場合に取り付ける方法です。  
(JP-6 ページ)

- 必ずアダプタリングを使ってカメラを取り付けてください。

### ●設置と調整の作業の流れ

本機は、次の手順で設置・調整してください。



## ●天井・壁の表面に取り付ける

ここでは、ケーブルを天井や壁の内側に通す方法で説明します。ケーブルを天井や壁の外側に通す場合は、手順1で天井や壁に穴をあけたのち、右の「ケーブルを天井や壁の外側に通すとき」をご覧ください。

### 1 天井や壁に穴をあける

付属のテンプレート紙を使い、天井や壁に設置位置の印を付けます。

#### ●ケーブルを天井や壁の内側に通すとき

テンプレート紙で印を付けたカメラを取り付けるネジ穴 (Screw A 2カ所) と、ケーブルを通す穴 (Cables) をそれぞれ貫通しておきます。

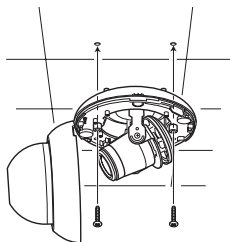
#### ●ケーブルを天井や壁の外側に通すとき

テンプレート紙で印を付けたカメラを取り付けるネジ穴 (Screw A 2カ所) を貫通しておきます。

### 2 カメラ本体を取り付ける

本体カバーを外し、カメラ本体を天井や壁に取り付けます。

●取り付け用ネジは、天井や壁の材質に適したものをご用意ください。ネジ径は、4mmのものを推奨します。

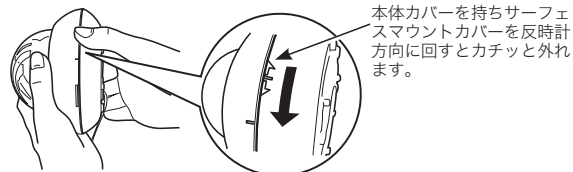


▶▶▶ 取り付けが終了したら、JP-7 ページをご覧ください。

## ■ケーブルを天井や壁の外側に通すとき

ケーブルを天井や壁の外側に通す場合は、次の手順でカメラ本体を取り付けます。

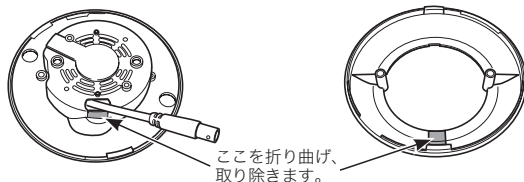
① カメラ本体からサーフェスマウントカバーを取り外します。



② カメラ本体背面と、サーフェスマウントカバーの図の部分を取り除き、ケーブルを通すための穴を用意します。

カメラ本体背面

サーフェスマウントカバー

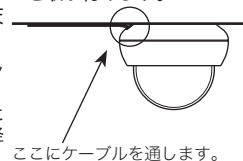


③ カメラ本体にサーフェスマウントカバーを取り付けます。

④ 本体カバーを外し、カメラ本体を天井や壁に取り付けます。

●ケーブルを、②で用意した穴に通します。

●取り付け用ネジは、天井や壁の材質に適したものをご用意ください。ネジ径は、4mmのものを推奨します。



## ●天井・壁に埋め込んで取り付ける

天井・壁に埋め込んで取り付ける場合は、必ずアダプタリングを使ってカメラを取り付けてください。

### 1 天井や壁に穴をあける

付属のテンプレート紙を使い、天井や壁に設置位置の印を付けます。

- テンプレート紙で印を付けたアダプタリングを取り付けるネジ穴 (Screw B 2カ所) と、カメラ本体を埋め込む穴をそれぞれ貫通してしておきます。

### 注意

- 作業開始前に、穴あけする大きさや場所が適切かどうかを、再度確認してください。

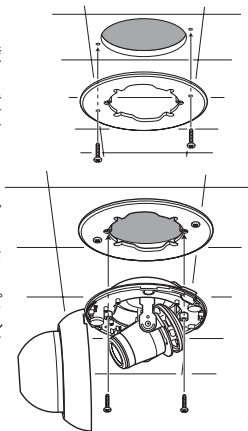
### 2 アダプタリングを取り付ける

カメラ本体を取り付ける天井や壁に、アダプタリングを取り付けます。

- 取り付け用ネジは、天井や壁の材質に適したものをご用意ください。ネジ径は、4mmのものを推奨します。

### 3 カメラ本体を取り付ける

- ① カメラ本体からサーフェスマウントカバーを取り外します。
- ② 本体カバーを外し、カメラ本体をアダプタリングに取り付けます。
  - 取り付け用ネジは、付属のタッピングネジをご使用ください。これ以外のネジは使用しないでください。



■■■▶ 取り付けが終了したら、JP-7 ページをご覧ください。

## ●4 Sジャンクションボックスに取り付ける

4 Sジャンクションボックスに埋め込んで取り付ける場合は、必ずアダプタリングを使ってカメラを取り付けてください。

### 1 アダプタリングを取り付ける

4 Sジャンクションボックスにアダプタリングを取り付けます。

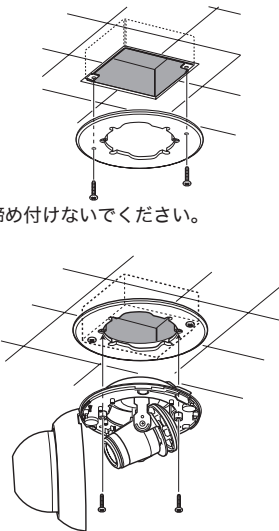
- 取り付け用ネジは、4 Sジャンクションボックスに適したものをご用意ください。

### 注意

- アダプタリングが変形するまでネジを締め付けないでください。

### 2 カメラ本体を取り付ける

- ① カメラ本体からサーフェスマウントカバーを取り外します。
- ② 本体カバーを外し、カメラ本体をアダプタリングに取り付けます。
  - 取り付け用ネジは、付属のタッピングネジをご使用ください。これ以外のネジは使用しないでください。



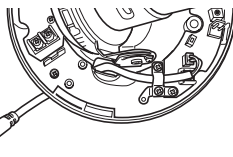
■■■▶ 取り付けが終了したら、JP-7 ページをご覧ください。

## ●ケーブルの接続

電源ケーブル、およびビデオケーブルを接続します。

- ① モニタから出ている映像ケーブルと、カメラ本体に取り付けられている映像中継ケーブルを接続します。

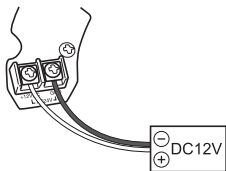
ここにモニタの映像  
ケーブルを接続



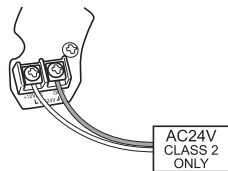
- ② 電源ケーブルを接続します。

- 直流 12V をご使用の場合は、+側を「+12VDC」表示側に接続します。

直流 12V の場合



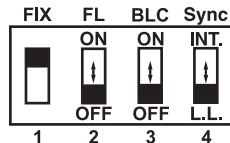
交流 24V の場合



## 【注意】

- 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されているかを必ず確認してください。
- ケーブルの極性が誤った状態で電源を入れると、カメラが故障することがあります。

## ●モード設定スイッチの設定



出荷時のスイッチ設定

## 【注意】

- 「FIX」と表示されているモード設定スイッチは、出荷時の設定位置から絶対に動かさないでください。

1	FIX (固定)	このスイッチは固定です。 出荷時の設定位置から絶対に動かさないでください。
2	フリッカレス (FL)	ON 50Hz 交流電源地域で、蛍光灯によるフリッカが気になる とき <sup>*1</sup>
		OFF 60Hz 交流電源地域、またはフリッカが気にならないとき
3	逆光補正 (BLC)	ON 逆光で被写体が黒く映ってしまうとき
		OFF 逆光が気にならないとき
4	同期方式 (Sync)	INT. 50Hz 交流電源地域、または複数カメラの同期が必要ない とき
		L.L. 交流電源同期、複数カメラを 60Hz 交流電源に同期させる とき <sup>*2</sup>

<sup>\*1</sup> 蛍光灯照明 (インバーター照明を除く、50Hz 交流電源の蛍光灯) によるフリッカ (ちらつき) が気になるときににご使用ください。

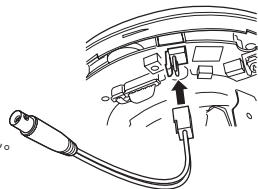
<sup>\*2</sup> 交流電源同期 (ラインロック) は、必ず 60Hz 交流電源でご使用ください。50Hz 交流電源では正しく動作しません。

## 【注意】

- フリッカレス設定を「ON」にすると、低照度環境では「OFF」時に比べて画像が暗くなります。

## ●テストモニタの取り付け

カメラの方向・画角・焦点の調整をテストモニタで確認する場合は、テストモニタ用ケーブルをご利用ください。

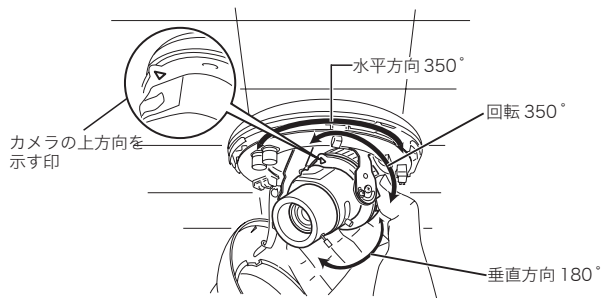


テストモニタは付属していません。  
あらかじめご用意ください。

## ●カメラの方向調整

カメラ本体は、水平、垂直、回転の三軸機構になっています。

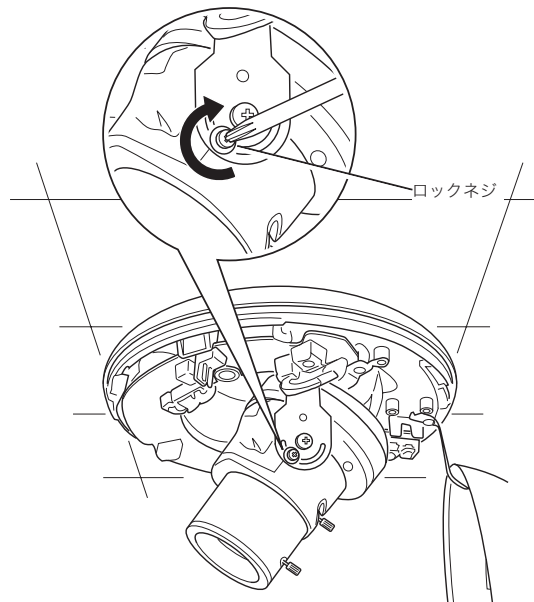
① レンズが被写体に向くように、方向を調整します。



### 【手】注意

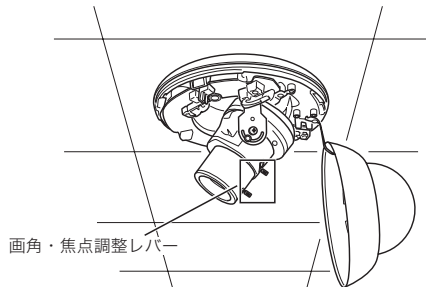
- 水平に近い角度でご使用の場合、カバーが写りますのでご注意ください。
- カメラの方向調整範囲を無理に大きく変更すると、カメラ内部配線ケーブルが部品等に引っ掛かり、故障の原因となります。

② 方向の調整が終了したら、ロックネジをドライバーで締めて固定します。



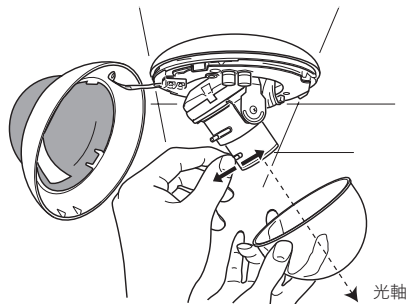
## ●画角・焦点の調整

レバーを動かし、画角および焦点を調整します。



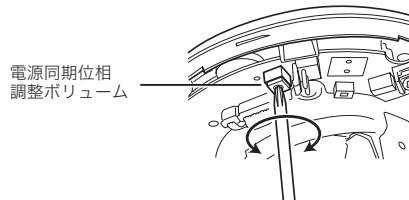
### 【注意】

- ZC-D5550NHA をご使用の場合は、下図のようにレンズの光軸がドームカバーの中心を通るよう、ドームカバーをかぶせながら焦点を調整してください。



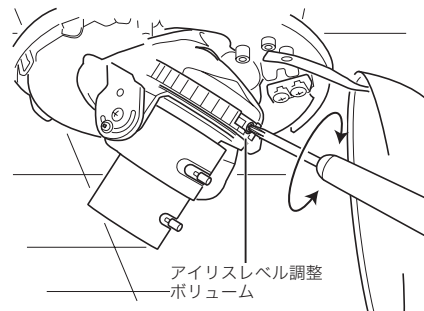
## ●同期位相の調整 (AC24V、60Hz 電源で、電源同期モードの場合)

電源同期の位相を調整する場合、交流電源同期位相調整ボリュームをご使用ください。  
(左方向に回し切った状態が標準位置です。)



## ●DC アイリスレベルの調整

ご使用の環境に合わせ、DC アイリスレベルを調整します。  
(中央位置が標準位置です。)

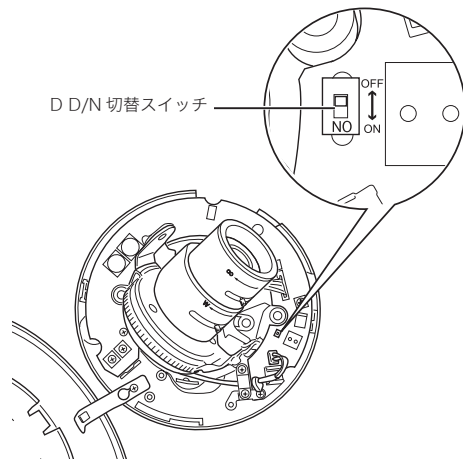


## ● D D/N (デジタル Day/Night) 切替スイッチの設定

カメラ映像のデジタル処理により、さらに低照度の環境でも明るい映像が得られます。本機能が作動しているときは白黒映像となりますが、設置環境が明るくなると自動的にカラー映像に戻ります。

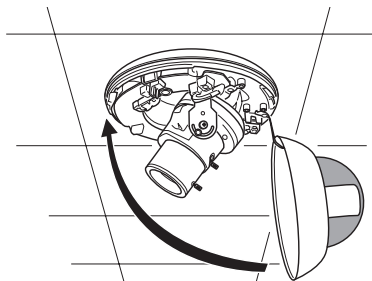
ON : デイナイト (Day/Night) 自動切替  
(低照度: 白黒 通常: カラー)

OFF : カラー映像で固定



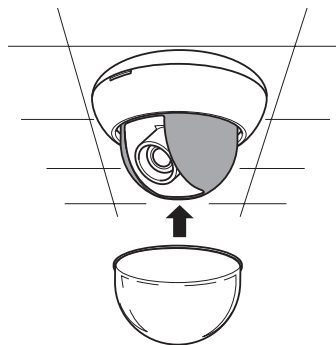
## ● 設置、調整の終了

① 本体カバーを装着します。



② インナーカバーを回し、スリットをレンズに合わせます。

③ ドームカバーを装着します。



# 仕様

型番		ZC-D5029NHA	ZC-D5212NHA	ZC-D5550NHA
		高解像度タイプ		
焦点距離		2.9 mm - 8.2 mm	2.8 mm - 12 mm	5.0 mm - 50 mm
最大口径比		1 : 1.0	1 : 1.3	1 : 1.3
F 値		F1.0 - F360C (DC オートアイリス)	F1.3 - F360 (DC オートアイリス)	F1.3 - F360C (DC オートアイリス)
画角 (ワイド端～テレ端)	対角	133.9° ~ 44.2°	121.8° ~ 29.6°	64.0° ~ 6.9°
	水平	98.3° ~ 35.2°	98.2° ~ 23.8°	51.8° ~ 5.6°
	垂直	70.7° ~ 26.3°	73.6° ~ 17.8°	39.2° ~ 4.3°
TV 方式		NTSC		
走査方式		2 : 1 インターレース		
撮像素子		1/3 型 インターライン転送型 CCD		
有効画素数		768 (H) x 494 (V)		
走査周波数		15.734kHz (H) / 59.94Hz (V)		
映像出力		1.0V (p-p) / 75 Ω		
水平解像度		540 TVL 以上		
最低被写体照度	50IRE	1.25 lx (D D/N : OFF) / 0.83 lx (D D/N : ON)	1.41 lx (D D/N : OFF) / 0.94 lx (D D/N : ON)	
	30IRE	0.63 lx (D D/N : OFF) / 0.42 lx (D D/N : ON)	0.73 lx (D D/N : OFF) / 0.47 lx (D D/N : ON)	
S/N 比		50dB 以上 (AGC ゲイン最小時)		
ガンマ補正		0.45		
同期方式		内部同期 (INT.) / 電源同期 (LL) : 60Hz 地域専用		
電子シャッター		1/60 秒固定 (フリッカレス : OFF) / 1/100 秒固定 (フリッカレス : ON)		
ホワイトバランス		ATW (自動追尾)		
入力電源		AC24V ± 10% 50Hz/60Hz ± 1Hz、DC12V ± 10%		
消費電力	DC 12V	3.0W		
	AC 24V	4.2W、250mA		
環境温度		使用温度 : - 10°C ~ + 50°C / 保存温度 : - 20°C ~ + 60°C		
環境湿度 (ただし、結露なきこと)		使用湿度 : 最大 85% RH / 保存湿度 : 最大 95% RH		
外形寸法		144 (φ) mm x 110 (H) mm		
質量		470g	490g	560g
調整ボリューム		DC アイリスレベル調整ボリューム、交流電源同期位相調整ボリューム		
付属品		テストモニター用ケーブル、アダプタリング、タッピングネジ (M4 x 20 : 2 本)、テンプレート紙、取扱説明書 (本書)		

※仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。



CBC Co.,Ltd.  
Tokyo, Japan  
[www.GANZ.jp](http://www.GANZ.jp)